

さ

祉

大阪府市町村ボランティア連絡会発足

ボランティアのパワーを結集
大阪府市町村ボランティア連絡会発足

大阪府下のボランティア連絡会等の代表者によ
る「大阪府市町村ボランティア連絡会」の設立総
会が、七月二十四日午後、大阪社会福祉指導セン
ターで開かれ、三十一市町村から五十人が出席し
ました。

総会では、会則と事業計画・予算を決定し、役員の選出が行われました。役員は次の方々です。
(敬称略)

会長 矢形 律子(高槻)
副会長 渡瀬 芳子(池田)
小村 正子(枚方)
幹事 比嘉 律男(茨木)
丸山 幸恵(門真)
森下 順子(東大阪)



真剣な眼で記念講演を聞く各市町村ボランティア連絡会の代表者。今後の活動が期待されます。
(中央が矢形会長)

子さんは、「これから何ができるか、みんなで考えて取り組んでいきたい。」
藤原 法子(岬) 監事 栗原 清子(交野) 佐々木みつえ(羽曳野) 会計 藤田小夜子(泉南)
力でやっていきたい。そのことが府民への啓発の大きなパワーとなると思
います」と話していました。

現在、府下の市町村単位のボランティア連絡会で、ボランティア相互の交流と連携を進めていま
す。また、事務局となつた大阪府ボランティアセ
ンターと協力して、幅広い活動を行う予定です。

「貴重なお話を伺いました。
ボランティアフェスティバルの協力について意見交換を行いました。
」など、

総会の後、引き続いて代表者会議が行われ、記念講演として「企業の社会貢献」をテーマに、大阪ガス株式会社、人事部
いきいき市民推進室長の松井淳太郎氏が講演しました。

松井氏から「『小さな灯運動』を十六年間続けてきたが、一年間の活動参加者が一万人近くに増え
て社員の意識が大きく変化し、七割くらいの人
がボランティア活動への参加意欲を持つようになり、趣味を生かすなどのきっかけづくりから、地域交流、社会貢献へと発

全国ボランティアで
お会いしま
よ

ートⅡ

んは、水耕栽培によるトマトの巨木(一本の苗)が成長し、一万三千個の

り、共存と共生の社会こそが本質的なものであることを下皮で

が生きていくな

介護用品の ファッションショーなど

大阪府老人介護者(家族)の会連絡会活動交流会

関係
もに考
後の今
今年二
七八年

わいわいミーティング 知事とボランティア対話集会



太田房江知事とボランティアNPOが意見交換した「大阪わいわいミーティング」



地域に根ざした活動の推進を報告する市町村ボランティア連絡会の大杉会長

「赤い羽根」と人をモチーフに共同募金のたすけあいでみんなの優しい心を伝える素晴らしい姿や広がりをイメージしてアピールしました。(作者:井口やすひさん(東京都)談)



共同募金会 バッジ図案決まる

赤い羽根が映え、誰にでも親しみがもてる「デザイン」

今秋十月一日から始まる共同募金運動期間中に、近畿各県域で、いつせいに配布される記念バッジの図案が決まりました。

全国各地から寄せられた八百六十点の応募作品の中から、審査委員会委員長・三浦徹(大阪府共同募金企画公報部会委員長)で採用作一点、佳作十点が決定しました。

「赤い羽根」と人をモチーフに共同募金のたすけあいでみんなの優しい心を伝える素晴らしい姿や広がりをイメージしてアピールします。(本ページにフォーラム)

V・市民活動センターへ 幅広い協働・支援のため

大阪府では、府民の生の声を知事が直接聴き、田知事が就任以来、対話を実施しており、昨

ボランティア

市町村V連が提案

年は、「こんなには太田ですかね」とのタイトルで、四

五年程度の座談会形式を

五回開催。今年はできるだけ幅広い、多数の市民

から聴くためにこの形に。

まず参加者を代表して、

大阪府市町村ボランティア連絡会の大杉勇子会長、

マイクがフロアの参加

者に回るや次つと手

の空いたところを高齢

者が積極的な意見が

あがめられた。

者や子どものために開放

提案しました。

方自治体と協働し、市民

が支え合う地域社会をつ

くっていきたい」との主

旨で報告。「ボランティ

アセンターへの支援」と

アセンタへの支援」と

してほしい」「単年度予

算では事業ができない。

企画の段階から参画せ

て」「などの声に、知事は

「NPOとの協働は可能

と言った。行

政も工夫が必要。きれい

ごとでなく、現実に即し

て考えていく」と答

えました。

てほし」「单年度予

算では事業ができない。

企画の段階から参画せ

て」「などの声に、知事は

「NPOとの協働は可能

と言った。行

政も工夫が必要。きれい

ごとでなく、現実に即し

て考えていく」と答

えました。

てほし」「单年度予

算では事業ができない。

企画の段階から参画せ

て」「などの声に、知事は

「NPOとの協働は可能

と言った。行

政も工夫が必要。きれい

ごとでなく、現実に即し

て考えていく」と答

えました。

てほし」「单年度予

算では事業ができない。

企画の段階から参画せ

て」「などの声に、知事は

「NPOとの協働は可能

と言った。行

政も工夫が必要。きれい

ごとでなく、現実に即し

て考えていく」と答

えました。

てほし」「单年度予

算では事業ができない。

企画の段階から参画せ

て」「などの声に、知事は

「NPOとの協働は可能

と言った。行

政も工夫が必要。きれい

ごとでなく、現実に即し

て考えていく」と答

えました。

てほし」「单年度予

算では事業ができない。

企画の段階から参画せ

て」「などの声に、知事は

「NPOとの協働は可能

と言った。行

政も工夫が必要。きれい

ごとでなく、現実に即し

て考えていく」と答

えました。

てほし」「单年度予

算では事業ができない。

企画の段階から参画せ

て」「などの声に、知事は

「NPOとの協働は可能

と言った。行

政も工夫が必要。きれい

ごとでなく、現実に即し

て考えていく」と答

えました。

てほし」「单年度予

算では事業ができない。

企画の段階から参画せ

て」「などの声に、知事は

「NPOとの協働は可能

と言った。行

政も工夫が必要。きれい

ごとでなく、現実に即し

て考えていく」と答

えました。

てほし」「单年度予

算では事業ができない。

企画の段階から参画せ

て」「などの声に、知事は

「NPOとの協働は可能

と言った。行

政も工夫が必要。きれい

ごとでなく、現実に即し

て考えていく」と答

えました。

てほし」「单年度予

算では事業ができない。

企画の段階から参画せ

て」「などの声に、知事は

「NPOとの協働は可能

と言った。行

政も工夫が必要。きれい

ごとでなく、現実に即し

て考えていく」と答

えました。

てほし」「单年度予

算では事業ができない。

企画の段階から参画せ

て」「などの声に、知事は

「NPOとの協働は可能

と言った。行

政も工夫が必要。きれい

ごとでなく、現実に即し

て考えていく」と答

えました。

てほし」「单年度予

算では事業ができない。

企画の段階から参画せ

て」「などの声に、知事は

「NPOとの協働は可能

と言った。行

政も工夫が必要。きれい

ごとでなく、現実に即し

て考えていく」と答

えました。

てほし」「单年度予

算では事業ができない。

企画の段階から参画せ

て」「などの声に、知事は

「NPOとの協働は可能

と言った。行

政も工夫が必要。きれい

ごとでなく、現実に即し

て考えていく」と答

えました。

てほし」「单年度予

算では事業ができない。

企画の段階から参画せ

て」「などの声に、知事は

「NPOとの協働は可能

と言った。行

政も工夫が必要。きれい

ごとでなく、現実に即し

て考えていく」と答

えました。

てほし」「单年度予

算では事業ができない。

企画の段階から参画せ

て」「などの声に、知事は

「NPOとの協働は可能

と言った。行

政も工夫が必要。きれい

ごとでなく、現実に即し

て考えていく」と答

えました。

てほし」「单年度予

算では事業ができない。

企画の段階から参画せ

て」「などの声に、知事は

「NPOとの協働は可能

と言った。行

政も工夫が必要。きれい

ごとでなく、現実に即し

て考えていく」と答

えました。

てほし」「单年度予

算では事業ができない。

企画の段階から参画せ

て」「などの声に、知事は

「NPOとの協働は可能

と言った。行

政も工夫が必要。きれい

ごとでなく、現実に即し

て考えていく」と答

えました。

てほし」「单年度予

算では事業ができない。

企画の段階から参画せ

て」「などの声に、知事は

「NPOとの協働は可能

と言った。行

政も工夫が必要。きれい

ごとでなく、現実に即し

て考えていく」と答

えました。

てほし」「单年度予

算では事業ができない。

企画の段階から参画せ

て」「などの声に、知事は

「NPOとの協働は可能

と言った。行

政も工夫が必要。きれい

ごとでなく、現実に即し

て考えていく」と答

えました。

てほし」「单年度予

算では事業ができない。

企画の段階から参画せ

て」「などの声に、知事は

「NPOとの協働は可能

と言った。行

政も工夫が必要。きれい

ごとでなく、現実に即し

て考えていく」と答

えました。

てほし」「单年度予

算では事業ができない。

企画の段階から参画せ

て」「などの声に、知事は

「NPOとの協働は可能

と言った。行

政も工夫が必要。きれい

ごとでなく、現実に即し

て考えていく」と答

えました。

てほし」「单年度予

算では事業ができない。

企画の段階から参画せ

て」「などの声に、知事は

「NPOとの協働は可能

と言った。行

政も工夫が必要。きれい

ごとでなく、現実に即し

て考えていく」と答

